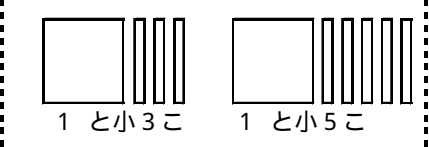
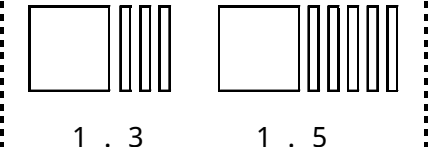


# 資料編

操作的な活動で楽しく学び、算数の苦手意識を軽減し、数学的な考え方への気付きを促す習熟度別少人数学習「基礎コース」の授業づくりの提案  
 < 課題3、課題4の解決例 >

長期研修員 大里 忠弘

単元の指導と評価の計画 (全9時間 習熟度別少人数学習「基礎コース」用)

時間	ねらい ・主な学習活動	・支援及び指導上の留意点	評価規準(評価方法) 「十分満足」と判断される状況 「努力を要する」児童への手立て
1	1と2の間にも数が存在し、10等分した単位を用いて数として表せることが分かる。 「小数」「小数点」の用語理解 ・1.5 ボトル、1.3 ボトルを1と2の間のどの辺におくか考える。 ・1と2の間の端数部分を数でどう表すか考える。 具体・半具体物教材  1 ますと、0.1 ますで実際の水を量る。	・1、2、1.3、1.5 ボトルを見せ、数直線的に並べるとしたらどのような間隔で並べるか考えさせる。 ・0.1 ますやタイル図を用意し、10等分の考えを視覚的に示す。 教材活用の効果 ・1 ますと、0.1 ます10個を使って実際にペットボトルの水を量ることで、1に満たない端の部分を数量化することを視覚的に意識できる。 ・タイル図を並べることで、1と1に満たない端の部分との相対的な関係を視覚的にとらえることができる。 ・「小数」「小数点」の用語を確認	考 1と2の間を10等分する考えが分かり、プリントに10等分目盛をあてて等間隔に仕切ることができる。(発表、ワークシート) 「1と2の間を10等分する」考えが分かり、定規を使って等間隔に仕切ることができる。(発表、ワークシート) 10cmのテープ図に2等分・3等分～10等分の目盛を入れた図を使い、均等に分けることを視覚的にとらえるようにする。
2	1と0.1の十進構造が分かる。 ・1に満たない端数部分を数でどう表すか考える。 ・小数じゃんけんゲームをする。 具体・半具体物教材 1と0.1の関係をモデル化したマグネットタイルを操作する。  問題解決の手がかりとできるように、マグネットタイルを操作する。	・水、1 ます、0.1 ます、タイル図を用意し、児童の必要に応じて活用する。 ・0.1が10個集まると1になることを確認する。 十進記数法の原理 教材活用の効果 ・ホワイトボード上で、マグネットタイルを操作することで、1が10個の0.1に分かれること、0.1が10個で1になることを具体的操作を通して確認することができる。 ・マグネットタイルと小数の表記を併記することで、小数第一位の意味を考えることができる。 ・マグネット操作を手がかりにして、理解を深めることができる。	知 1と0.1の関係について、0.1が10こ集まると1になることが分かる。 「1と0.1の関係について、0.1が10こ集まると1になる」ということと、1を10等分して0.1になるという両面から理解している。 (発表、ワークシート) 1と0.1の関係について理解できていない児童には、10等分できるマグネットタイルを操作することで理解を深める。
3	小数が整数と同じ十進構造になっていることが分かる。 小数を数直線に対応させることができる。	・操作活動を通して、小数の構造を理解できるようにする。 ・数直線から1.7を読み取った理由を複数取り上げることで、小数を多面的にとらえられるようにする。	考 小数を構成的にとらえたり、多面的にとらえることができる。(発言) 表 数直線上の目盛りを読んで小数で表すことができ

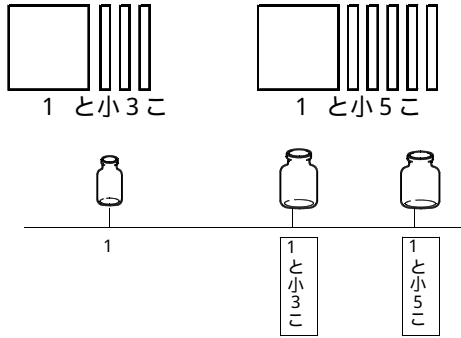
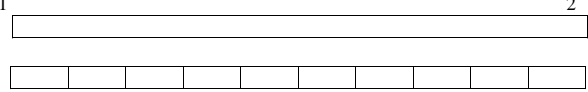
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数をいろいろな見方でとらえる。</li> </ul> <p>数学的な考え方に気付く指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線上の点を1.7と読みとった理由を自分の言葉でまとめる。</li> <li>・ワークシートにまとめ、発表する。</li> </ul>	<p>小数の相対的な大きさ 数の多面的な見方 指導の位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の着想の理由を自分の言葉でまとめたり、友だちの考えを聞いたりすることを繰り返し、小数の見方に気付くことができる。</li> </ul>	<p>る。(ワークシート)</p>
4	<p>いろいろな単位をもとにして、かさや長さを小数で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数クイズ</li> <li>・、cm、mをもとにした小数で表す。</li> <li>・小数を用いることの良さについて考える。</li> </ul> <p>数学的な考え方に気付く指導の工夫</p> <p>小数クイズを考える。</p> <p>5に0.1たりないのは□</p> <p>3と0.1の4こ分をあわせると□</p> <p>答えが1.8になる問題を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10等分する考えに繰り返し触れる。</li> <li>・28d は2.8 や28d とも表せることに触れる。</li> <li>・小数を使うことで単名数で表せて簡単になることに気づかせる。</li> </ul> <p>指導の位置づけ</p> <p>自分で問題を考えたり、友だちの考えを聞いたりして、小数を0.1のいくつ分かの考えでとらえることができるようにする。</p>	<p>表</p> <p>単位量に満たないはしたの量の大きさを小数で表すことができる。</p> <p>cm、m、など様々な単位に着目して、単位量に満たないはしたの量の大きさを小数で表すことができる。</p> <p>1 cm の目盛を10等分するワークシートに実際の長さで数直線を作り定規の目盛と対応させる。</p> <p>1 m の目盛を10等分する課題では、実際の1 m物差しを見せて具体的な長さをイメージさせる。</p>
5	<p>小数の仕組みや大小関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0と0.1はどちらが大きいかが考える。(理由含む)</li> <li>・数直線上の小数を読む</li> <li>・0.1が10個分でいくつかが考える。</li> <li>・小数の大小比較をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由は不十分でも発表を奨励する。</li> <li>・数直線を作る作業から行わせる。</li> <li>・整数の十進構造と対比して小数の仕組みを理解させる。</li> <li>・末尾の位の0の処理について確認する。</li> </ul> <p>十進記数法の原理</p>	<p>知</p> <p>数直線上の値を小数で読んだり表したりする活動を通して、小数も整数と同じ仕組みで表されていることを理解することができる。</p> <p>数直線上の値を小数で読んだり表したりする活動を通して、小数も整数と同じ仕組みで表されていることを理解することができるとともに、位取り記数法についての理解を深めることができる。</p>
6	<p>模擬紙幣、貨幣での両替操作をする。</p> <p>小数は、0.1の何個分で考えると、整数と同じように加法計算ができることが分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合わせて0.9 になるジュースについて考える。</li> <li>・帯小数+帯小数の計算の仕方</li> <li>・純小数+純小数(くり上がり)の計算の仕方を考える。</li> <li>・筆算の仕方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件不足問題を提示し、複数の答えを引き出す。</li> <li>・0.1のいくつ分かに着目させる。</li> <li>・必要な児童にはタイル図を使い、筆算の仕組みを視覚的にとらえるようにする。</li> <li>・筆算では位をそろえるために、小数点の位置を合わせることに注意させる。</li> </ul> <p>0.1のいくつ分かで、小数点の位置を決定する。</p> <p>小数の相対的な大きさ</p>	<p>考</p> <p>既習の整数の計算方法をもとに、小数の加法計算の仕方について考えることができる。</p> <p>0.1をもとにすると、既習の整数の計算と同様に考えることができることに気づき、小数の加法計算の仕方について考えることができる。</p>

	<p>具体・半具体物教材          模擬紙幣を使って、三千円を万円単位に換算する。</p> <p>数学的な考え方に気付く指導の工夫          小数の足し算を立式した根拠、計算の仕方についての説明を考える。</p>	<p>教材活用の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模擬紙幣を扱うことで児童の興味</li> <li>・ 関心を高めることができる。</li> <li>・ 小数を生活場面と結びつけて考えることができる。</li> </ul> <p>指導の位置づけ</p> <p>0.1を単位にする考えについて自分の言葉で整理することを繰り返す。</p>	<p>繰り上がりが理解できていない児童には、タイル図を使って計算を考えさせたり、お金の両替の場面と関連づけて考えさせる。</p>
7	<p>小数の減法も、小数の加法と同様に考えてできることが分かる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帯小数 - 帯小数の問題を解く。</li> <li>・ 帯小数 - 帯小数（くり下がり）の問題を解く。</li> <li>・ 筆算の仕方を考える。</li> </ul> <p>具体・半具体物教材の活用</p> <p>タイル図を使って繰り下がりの計算を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0.1のいくつか分に着目させる。</li> <li>・ 必要に応じてタイル図を使わせる。</li> <li>・ 答えの根拠を考え、説明させる。</li> <li>・ 筆算の場合の位のそろえ方、0の表記について、その意味を考えるよう促す。</li> </ul> <p>教材活用の効果</p> <p>0.1の棒5本から9本をひきたいが、ひけない。1のタイルを10本の棒に分ける。15本からなら、9本がひける。くり下がりだね。</p>	<p>表</p> <p>小数第1位までの小数の減法や桁数のそろっていない減法の筆算が正確にできる。</p> <p>小数第1位までの小数の減法や桁数のそろっていない減法の筆算が正確に速くできる。</p> <p>繰り下がりが理解できていない児童には、タイル図を使って計算を考えさせる。</p>
8	<p>問題演習を通して、本単元で学習した内容を振り返る。</p>	<p>どのようにして答えを出したのか問いかけながら、根拠になる考え方を意識するように個別に支援する。</p>	<p>関</p> <p>単元で学習した考え方をを使って、問題を解こうとしている。</p> <p>これまでの学習プリントを見返したり、友だちや教師に質問したりして、最後まで問題を解こうとしている。</p> <p>学習プリントから、ヒントを探してみるように助言する。</p>
9	<p>習熟のための演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級一斉のTTで、つまづいている児童への個別支援を行う。</li> <li>・ 複数種類の演習プリントの中から児童に選ばせ、主体的な意識を持たせる。</li> </ul>	<p>関</p> <p>単元で学習した考え方をを使って、問題を解こうとしている。</p> <p>これまでの学習プリントを見返したり、友だちや教師に質問したりして、最後まで問題を解こうとしている。</p> <p>学習プリントから、ヒントを探してみるように助言する。</p>

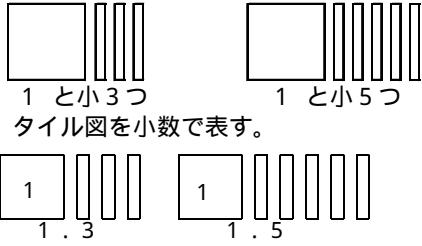
本時の展開

第1時(1/9)

ねらい... 1と2の間を10等分すれば、1より多くて2より少ないはしたの量を数で表せることが分かる。

時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手だて
5	<p>1より多く、2より少ない水の量は何と言えよいのでしょうか。</p> <p>1と2の間にも数が存在し、10等分した単位を用いて数として表せることが分かる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1、2、1.3、1.5 ボトルを中身の量に対応して並べる。</li> </ul> <p>T: 1.5 ボトル、1.3 ボトルを示して、どこにならべたいい?</p> <p>C: 1と2の間。</p> <p>C: 1より大きくて、2より小さいから。</p> <p>C: 位置をはっきり決められない。</p> <p>C: 水の量を量りたい。</p> <p>どちらも、1と半分、1とあと少し。</p> <p>C: もっと小さいですが欲しい。</p> <p>C: まずは目盛をつけたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ボトル、2 ボトルの水をそれぞれ ますで量り、中身の量を確認する。</li> <li>1と2の間におく1.5、1.3 ボトルの位置をずらせて見せ、容量に応じた相対的な間隔で並べることを意識させる。</li> <li>d を使うという考えが出れば、拾い上げて3年生のときに学習したこととして確認し、ここでは更に新しい学習をすることを話す。</li> <li>どんなますが欲しいか、どんな目盛をつければよいか考えさせ、10等分のアイデアを引き出したい。</li> <li>10等分の考えが出たら、キーワードとして板書</li> </ul>	<p>考</p> <p>1と2の間を10等分する考えが分かり、プリントに10等分目盛をあてて等間隔に仕切ることができる。(発表、ワークシート)</p> <p>1と2の間を10等分する考えが分かり、定規を使って等間隔に仕切ることができる。(発表、ワークシート)</p> <p>10cmのテープ図に2等分・3等分~10等分の目盛を入れた図を使い、均等に分けることを視覚的にとらえるようにする。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 まず、小ますで水を量る。(教卓で師範)</li> </ul>  <p>1と小3こ      1と小5こ</p> <p>1      1と小3こ      1と小5こ      2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1と小1こ~1と小9こを並べる。</li> </ul> <p>C: 小が10こ集まると1になり、2と同じことになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1と2の間を等間隔に10こに分ける。(ワークシート)</li> </ul> <p>1と2の間を10こに分けよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイル図を黒板に貼り、1と小こを書き添える。</li> <li>1と小10こはどこにおく?と揺さぶる。</li> <li>1と2の間にカードを不均等な間隔で並べ、問題点を指摘させる。均等に分けることを児童から引き出したい。</li> <li>左のプリントで10等分の意味を確認する。</li> <li>テープ図の長さが10cmであることをおさえ、10こに等しく分ける場合の、1個分の長さを考えさせる。</li> <li>全てが等しい長さになっていることを確認する。</li> </ul>	
	<p>水の量をタイル図で表す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教卓の上の水の量を自分の机の上でタ</li> </ul>	

15

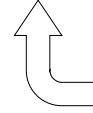


1 と小3つ  
1 と小5つ  
タイル図を小数で表す。

- ・1.3や1.5のような数を小数という。
- ・1.3 を「いちてんさんリットル」と読む。
- ・1.5 を「いちてんごりットル」と読む。
- ・ワークシートの1 と 2 の間に小数を書き込む。

イルを使って表してみよう。

- ・1枚の正方形タイルと、正方形を10等分したカードを各自に操作させる。  
(ホワイトボード、マグネットタイル)
- ・「小数」「小数点」読み方を確認する。
- ・ワークシートでタイル図から小数への書き換え問題を解く。



表

タイル図で書かれた小数第1位までの数を小数に書き換えることができる。(ワークシート)  
1と2の間の小数第1位までの小数を全て書くことができる。(ワークシート)  
タイル図の下に小数を書き込むワークシートを用意し、小数で表記することに慣れさせる。

10

**本時の学習を振り返る**

「1ますを10等分すれば、1より多く、2より少ないはしたのある水の量も数で表すことができる。」

小数の考え(10こに等しく分ける)

**レディネステスト**

1 cm =  mm    1 m =  cm    1 km =  m  
 1 kg =  g    1 =  d  
 1分 =  秒    1時間 =  分    1日 =  時間  
 1mm =  cm    60cm =  m

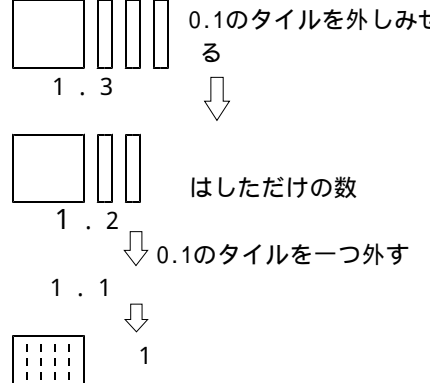
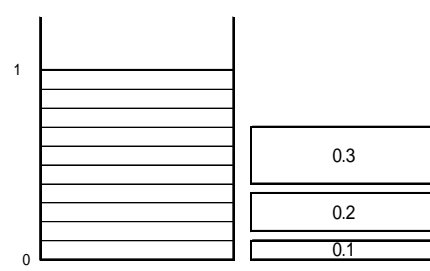
既習事項

未習事項

- ・「 すれば1より多く、2より少ないはしたの量も数で表すことができる。」の空欄を考えさせ、本時の学習を振り返る。

- ・テスト用紙の最後に、「自信がある」「何となくできたが自信がない」「よくできなかった」の選択肢を設け、自己評価させる。
- ・「はやぶさコース(発展コース)」「ふくろうコース(基礎コース)」の希望をとる。

ねらい...小数の意味とその表し方を理解する。

時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手だて												
7	<p><b>レディネステストの確認</b></p> <p>1 cm = 10mm   1 m = 100cm   1 km = 1000m 1 kg = 1000g   1 = 10d 1 分 = 60秒   1 時間 = 60分   1 日 = 24時間</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>1 と 2 の間にも数がある。 それを小数という。</p> </div> <p><b>前時の学習の確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 と 2 の間にどんな小数があるか。 1.1 1.2 1.3 ...1.9</li> <li>1 と 2 の間はどうなっている？ 10こに分かれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はこれからの学習で答えを見付けていこうと学習の動機付けをする。</li> <li>前の時間の学習内容を振り返る。</li> </ul>													
15	<p><b>1 より小さい数について考える</b></p> <p>今日は、1 と 0 の間にも数があるかについて学習しよう。 C : 1 より小さいって 0 かな。 C : 1 と 0 の間も 10こに分かれるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>細いタイル 1こが 0.1 を表すことを確認する。</li> <li>0.1 は 1 を等しく 10こに分けた 1つ</li> <li>0.1 が 1こ分...0.1</li> <li>0.1 が 2こ分...0.2</li> <li>0.1 が 9こ分...0.9</li> <li>0.1 が 10こになると？</li> <li>0.1 が 11こになると？</li> </ul> <p><b>用語の確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.3 0.6 0.1 などの数を小数という。</li> <li>「.」を小数点という。</li> <li>小数点の右の位を小数第一位という。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボード、マグネットタイルで半具体物操作の場を用意する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な児童には、タイル図で考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>1 を 10こに分けて 0.1 ができる <b>小数の考え</b> (10こに等しく分ける)</p> </div>	<p>知</p> <p>1 と 0.1 の関係について、0.1 が 10こ集まると 1 になるということが分かる。</p> <p>1 と 0.1 の関係について、0.1 が 10こ集まると 1 になるということと、1 を 10等分して 0.1 になるという両面から理解している。(発表、ワークシート)</p> <p>1 と 0.1 の関係について理解できていない児童には、10等分できるマグネットタイルを操作することで理解を深める。</p>												
15	<p><b>小数じゃんけんゲーム</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>2人1組でじゃんけんをする。</li> <li>グーで勝ったら 0.1、チョキで勝ったら 0.2、パーで勝ったら 0.3 の色水を獲得。</li> <li>先に 1 ためた人が勝ち。1 以上にあふれたら負け。</li> </ul> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>色画用紙の模式図</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>もらった水</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>0.3</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表者の結果を示し、足し算になっていることを全員で確認する。</li> <li>2人の水の差をたずね、引き算で求めら</li> </ul>	もらった水	合計	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	0.6					
もらった水	合計														
0.2	0.2														
0.1	0.3														
0.3	0.6														

れることを確認する。  
・足し算、引き算の学習は後日詳しくすることを伝える。

8 **まとめと練習**

- ・ 1 を10こに分けると、0.1 が10こになる。
- ・ 0.1 が10こあつると1 になる。

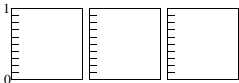
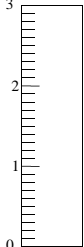
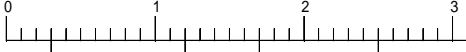
小数の考え(10こに等しく分ける)

練習問題 0.1 の3こ分のかさ。  
0.1 の9こ分のかさ。  
3 と、0.1 の5こ分をあわせてかさ。

**ワークシートに振り返りを記入**



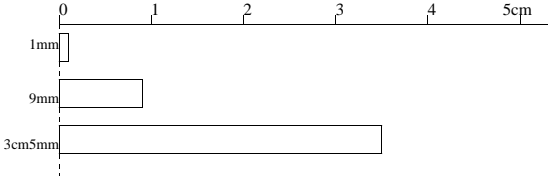
- ・今日の授業は楽しかったですか。
- ・今日の授業の内容は分かりましたか。
- ・マグネットタイルを使った学習は役に立ちましたか。
- ・感想

ねらい...小数を、0.1のいくつ分という見方でとらえることができる。

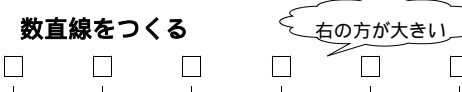

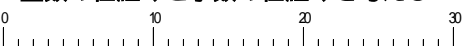
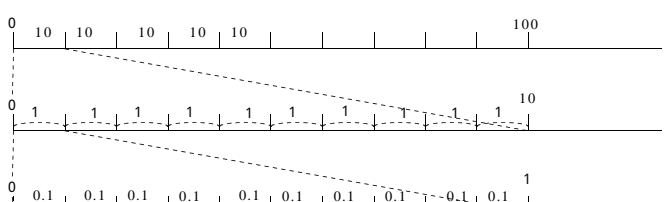
時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手立て
5	<p><b>前時の学習の確認</b></p> <p>0.1 が4こあったら何 ? 0.1 が7こあったら何 ? 0.6 は0.1 が何こ分? 「小数」「小数点」「小数第一位」の確認</p>		考
20	<p><b>小数を読む</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あなたは牛乳屋さんです。お客さんが牛乳を2.8 買いに来ました。 お店には、1 容器、3 容器、0.1 容器がたくさんあります。 あなたは、どのようにして2.8 の牛乳を売りますか。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>1 容器を使って</p>  <p>0.1 容器で28個</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>3 容器で</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>の掲示用模式図のサイズを同じにし、を の上に重ねて示せるようにする。</li> <li>児童の考え方を分類して名前をつける。 ア) 整数たす小数の考え イ) 整数ひく小数の考え ウ) 0.1 の何こ分の考え など</li> <li>小数についての多面的なとらえ方を紹介し合う。</li> </ul>	<p>小数の構成について、0.1の幾つ分と考え、小数の相対的な大きさや数の構成、大小を理解している。</p> <p>小数の構成について、0.1の幾つ分とみたり、小数も整数と同じ仕組みで表されていることを理解するとともに、位取り記数法についての理解を深めることができる。</p> <p>数直線上の目盛の間に0.1を書き並べ、その数を指で追って数えることで小数を0.1の幾つ分とみる見方を意識させる。</p>
15	<p><b>小数を構成的にとらえる</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>数直線上の目盛の値を小数で答える。</li> <li>0.1 のいくつ分か答える。</li> <li>が1.7 と言える理由を考える。 C : 1.7は0.1が17こ 1 とあと0.1が7こ 2 に0.3足りない..... 0.3 1.2 1.7 2.5</li> <li>他の小数についても理由を考える。</li> </ul> <p><b>数直線上に小数をとる</b></p> <p>2.7 1.8 1.6 2.1 2.3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのように考えて数直線上の位置を決めたのかをシートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線への導入において、上の の図を目盛部分だけ残して覆い、横に倒して提示する。</li> <li>目盛の1つ分がいくつになるか確認。</li> <li>目盛りの間に、0.1 0.1 を並べる。</li> <li>小数を答えると同時に、その理由を考えさせる。.....小数を構成的にとらえている。</li> <li>理由について、上のア)イ)ウ)のどの考えと同じであるか分類する。 ア) 整数たす小数の考え イ) 整数ひく小数の考え ウ) 0.1 の何こ分の考え</li> <li>数直線上の位置を決めた理由について、ア)イ)ウ)の分類を使って説明する場面を設け、自分の言葉で発表できたという成功感を味わわせたい。</li> </ul>	
5	<p><b>ワークシートに振り返りを記入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の授業は楽しかったですか。</li> <li>今日の授業の内容は分かりましたか。</li> <li>小数の考えとはどんなことですか。</li> <li>感想</li> </ul>		



ねらい...いろいろな単位をもとにして、かさや長さを小数で表すことができる。

時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手立て
10	<p><b>小数の問題づくり</b></p> <p>タイプA 例) 5に0.1たりないのは□ 3と0.1の4こ分をあわせると□</p> <p>タイプB 例) 答えが1.8になる問題を考えましょう。 (教科書などを参考にして可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数を多面的にとらえる見方の定着のために問題づくりを行う。</li> <li>用紙に大きめに書き、互に出題する。</li> <li>用紙の表に出題、うらにその説明を書く。</li> <li>0.5の2こ分、0.3の3こ分などの考えも予想されるが、否定はしない。<u>0.1をもとにした説明</u>ができていれば奨励する。</li> </ul>	<p>表</p> <p>単位量に満たないはしたの量の大きさを小数で表すことができる。 cm、m、など様々な単位に着目して、単位量に満たないはしたの量の大きさを小数で表すことができる。</p>
10	<p><b>はしたの量を小数で表す</b></p> <p>バケツの水をはかりました。何 でしょう。</p>  <p>C : 3 に少し足りない。 C : 2 とはした。 C : はしたのところを小数にしたい。</p>  <p>C : 1 を10等分したのだから、1つ分は0.1だ。 C : 2.8だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はしたを数で表すのにどうしたか(10等分)を振り返ることで、まずに10等分の目盛をつければよいことに気付くようにする。</li> <li>3年生の学習を想起させ、1d に触れる。</li> <li>2 8 d、28d とも表せる。</li> <li>2 8 d は2.8と同じ。 <b>とd が混じったかさを だけで表せる。</b></li> </ul>	<p>1 cm の目盛を10等分するワークシートに実際の長さで数直線を作り定規の目盛と対応させる。</p> <p>1 mの目盛を10等分する課題では、実際の1 m物差しを見せて具体的な長さをイメージさせる。</p>
20	<p><b>長さを小数を用いて表す</b></p> <p><b>cmとmm の混じった長さをcm だけで表すことができるでしょうか。</b></p> <p>C : とd が混じった数を だけで表せた C : 小数の考え(10こに等しく分ける)を使ってみよう C : 1 cm を10等分すると0.1cm C : 1 cm を10こに分けたら1 mm だ</p>  <p><b>cmとm の混じった数をmだけで表すことができるでしょうか。</b></p> <p>C : 小数の考え(10こに等しく分ける)で1 mを10こに分けてみよう。 10cm = □ m 60cm = □ m 1 m80cm = □ m</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートで1 cm の目盛を10等分して0.1cmの目盛を各自が作る。</li> <li>ワークシートで1 mの目盛を10等分して0.1mの目盛を各自が作る。</li> </ul> <p>1 cm を10等分する</p> <p>1 mm = 0.1cm 9 mm = 0.9cm 3 cm 5 mm = 3.5cm</p> <p>1 cm をもとにして</p> <p>1 m をもとにして</p>	<p>間</p> <p>もとになる単位を10等分する考えを使って単位量に満たない端数部分を数値で表そうとしている。</p> <p>cm、m、など様々な単位についても、もとになる単位を10等分する考えを使って、単位量に満たないはしたの量の大きさを小数で表すことができる。</p>
5	<p><b>学習のまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小数を使うと何が便利でしょう。 小数を使うと単位が一つですむ。</li> <li>身の回りのある小数を考えてみよう。 シャーペんのしん、くつのサイズ etc</li> <li>今日の学習は楽しかったですか。</li> <li>今日の学習内容は分かりましたか。</li> <li>感想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 mを10等分すると1 cmではなく、10cmになることに触れる。</li> <li>黒板に1 mの線分をかき、10等分の長さを実測する。</li> </ul>	

ねらい...小数が整数と同じ十進構造になっていることが分かる。

時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手立て																																																						
5	<p><b>前時の学習の確認</b></p> <p>3.5cmの直線を定規でかいてみよう</p> <p>類題) 5.5cm 8.2cm 10.3cm</p>	<p>・学習した知識を実際に使ってみようという視点で児童に話す。</p>	<p>知</p> <p>数直線上の値を小数で読んだり表したりする活動を通して、小数も整数と同じ仕組みで表されていることを理解することができる。</p>																																																						
15	<p><b>0と0.1の大小を考える</b></p> <p>0と0.1はどちらがおおきいでしょう。また、その理由を説明してみましょう。</p> <p>C: 0.1が大きいに決まっている。でもうまく説明できないな。 C: 0は何もないということ、0.1は少しだけあるということだから、</p> <p><b>数直線をつくる</b></p>  <p>・数字を並べよう。(0 1 2 3 4 5) ・どうして等間隔になっているのか? ・目盛を細かくしよう。</p>  <p><b>数直線</b></p> <p>・いくつに分ける?...10等分 ・数直線を小数で読む。 ・0.1の何こ分か考える。(0.1ずつ何番目)</p>	<p>・0.1を単位にして、1こ分と0こ分とを比べた説明が書けているか。 ・うまく理解できない児童、説明が書けない児童には、数直線上の位置に着目して視覚的に大小を理解できるようにする。</p> <p>・目盛の間隔と数に着目するよう声をかける。</p> <p>・上の数直線を掲示し、各自の数直線にあおを記入させる。 ・0.1の何こ分かわからない児童には、<math>\overbrace{0.1}</math>を並べ、数えるよう助言する。</p>	<p>数直線上の値を小数で読んだり表したりする活動を通して、小数も整数と同じ仕組みで表されていることを理解できるとともに、位取り記数法についての理解を深めることができる。</p>																																																						
20	<p><b>0.1が10こ分でいくつになるか考える</b></p> <p>・0.1で何?...1を10こに分けた1こ分 ・その0.1を10こ集めたら? ・その1を10こ集めたら? ・その10を10こ集めたら?</p> <p>整数は10こ集まると1つ上の位に上がる。 小数も10こ集まると1つ上の位に上がる。</p> <p><b>整数の仕組みと小数の仕組みを考える</b></p>  <p>・0.1が並んでいる小数の数直線と、1が並んでいる整数の数直線が同じ仕組みになっていることに気付く。</p>	<table border="1" data-bbox="686 1276 893 1478"> <tr><td>千の位</td><td>百の位</td><td>十の位</td><td>一の位</td><td>小数第一位</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="909 1276 1117 1478"> <tr><td>千の位</td><td>百の位</td><td>十の位</td><td>一の位</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>・整数の位取り表と比較し、同じ仕組みになっていることをつかませる。</p>  <p>目盛の1つ分がいくつになるか確認。 ・目盛りの間に、1 1を並べる。 1が10こで10.....10を10こに分けて1 <b>10のまとまり</b>で考える 10が10こで100.....100を10こに分けて10 ↓ 同じ考えで 0.1が10こで1.....1を10こに分けて0.1 <b>小数の考え(10こに等しく分ける)</b></p>	千の位	百の位	十の位	一の位	小数第一位					0.1					1				1	0			1	0		1	0	0			千の位	百の位	十の位	一の位				1				10			1	0		1	0	0	1	0	0	0	
千の位	百の位	十の位	一の位	小数第一位																																																					
				0.1																																																					
				1																																																					
			1	0																																																					
		1	0																																																						
1	0	0																																																							
千の位	百の位	十の位	一の位																																																						
			1																																																						
			10																																																						
		1	0																																																						
	1	0	0																																																						
1	0	0	0																																																						

小数の大小関係を考える

- 0.6 - 0.7 - □ - 0.9 - □ - □ -  
- 5.2 - 5.1 - □ - 4.9 - 4.8 - □ -

3.1と2.9では、どちらが大きいですか

C : 3と2を比べて3の方が大きい

C : 0.1で考えて、2.9は29こ、3.1は31  
こだから、3.1の方が大きい

C : 数直線で見たら、3.1が右にある

ワークシートに振り返りを記入

- ・今日の授業は楽しかったですか。
- ・今日の授業の内容は分かりましたか。
- ・数直線を自分でかきました。数直線を自分でかいたことについてどう思いますか。

- ・ は0.1ずつ増え、 は0.1ずつ減っていることに気付かせる。
- ・ 5.0、1.0とは書かずに5、1と書くことに触れる。

類題)

5.6 vs 3.4   2.8 vs 6.5   3.2 vs 3.8

一の位の比較   小数第一位の比較

何を決め手にして大小を判定しているかに着目させる。

- ・ 困っている児童には、数直線上の位置関係で考えてみるように助言する。

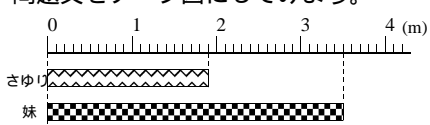
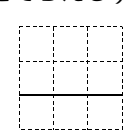
5

ねらい...0.1を単位として考えると、小数も整数と同じように加法の計算ができることを理解する。

時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手立て
5	<p><b>前時の学習の確認</b></p> <p>3千円は何万円と言えいいでしょう。</p> <p>予想される児童の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一万円札一枚で...いちまんえん</li> <li>・一万円札を千円札にくずすと...千円札が10枚.....いちまんえん</li> <li>・一万円を十等分したのだからその1つは、0.1万円と言えるかな。</li> <li>・3千円はその3つ分だから0.3万円</li> </ul>	<p>支援及び指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した知識を実際に使ってみようという視点で出題する。</li> <li>・発表ボードに答えとその理由を書くよう指示する。</li> <li>・千円十枚でじゅうせんえんとは言わない。</li> <li>・百円五十枚で十百円とは言わず、千円に位が上がる。</li> </ul>	<p>考</p> <p>既習の整数の計算方法をもとに、小数の加法計算の仕方について考えることができる。</p>
10	<p><b>加法の問題を立式する</b></p> <p>青いペットボトルと赤いペットボトルにジュースが入っています。このジュースを合わせると、0.9 になります。青いペットボトルと赤いペットボトルには、それぞれ何のジュースが入っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が考えた組み合わせで0.9 になる根拠を考える。</li> <li>・まず図や数直線を使って説明を考える。</li> <li>・0.1 が何こ分かで考える。</li> </ul> <p>(何こ分の考え)</p> <p>0.1が何こ分かで考えれば、小数も整数と同じようにたし算ができる。</p> <p>自分が考えた答えを式にする。</p> $\begin{array}{r} + \\ = 0.9 \end{array}$	<p>支援及び指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず図、数直線図を見えるように掲示しておく。</li> <li>・複数の組み合わせが考えられる。</li> <li>・数名児童を指名し、説明する場を設ける。</li> <li>・1 まず</li> <li>・0.1の何こ分</li> <li>0.1の4こ分</li> <li>0.1の5こ分</li> <li>合わせて0.1が9こ</li> <li>・d で考える</li> <li>・数直線</li> <math display="block">4d + 5d = 9d</math> </ul>	<p>考</p> <p>0.1をもとにすると、既習の整数の計算と同様に考えることができることに気づき、小数の加法計算の仕方について考えることができる。</p> <p>繰り上がりが理解できていない児童には、タイル図を使って計算を考えさせたり、お金の両替の場面と関連づけて考えさせる。</p>
10	<p><b>帯小数+帯小数の計算のしかたを考える</b></p> <p>大きいコップには2.5d、小さいコップには1.3d のジュースが入っています。合わせてジュースは何d あるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式を考えよう</li> <li>C：小数も整数と同じにたし算ができるから、<math>2.5 + 1.3</math></li> <li>・計算のしかたを考えよう</li> <li>C：<u>0.1の何こ分</u>で考えると</li> <li>(何こ分の考え)</li> <li><math>25 + 13 = 38</math> 0.1が38こで3.8</li> <li>C：タイル図で考えよう</li> </ul> <p><b>練習問題をする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がりのない加法(4問)</li> <li>純小数+純小数、帯小数+帯小数</li> </ul>	<p>支援及び指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ位同士でたす</li> <li>この図から筆算を説明する</li> </ul> $\begin{array}{r} 2.5 \\ + 1.3 \\ \hline 3.8 \end{array}$ <p>1が2+1      0.1が5+3</p> <p>位をそろえる</p>	<p>考</p> <p>筆算の手順も書くよう指示する。</p>

15	<p>繰り上がりのあるたし算のしかたを考 える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>0.9mのテープと0.3mのテープをつなぎました。全体の長さは何mになるでしょうか。</p> </div> <p>・式を考えよう  C：つなげるから足し算だ。  C：0.1の何こ分で考えると、  C：筆算で計算してみよう、</p> <p><b>筆算の練習をする</b>  2.3+4.8      0.9+7.1      5+3.4</p>	<p>・1 mより長いかどうかの見通しをもたせる。</p> <p>・小数第1位の和が10を超えると1つ上の位に繰り上がることに気付かせる。</p> <p>・筆算の位をそろえることを確認する。</p> <p>・小数第1位の0の扱いを確認する。  (斜線で消す)</p> <p>・0の後ろには数字がないということ。</p>	
5	<p><b>学習のまとめ</b></p> <p>・今日の学習は楽しかったですか。</p> <p>・今日の学習内容は分かりましたか。</p> <p>・小数のたし算と整数のたし算の似ているところはどんなところですか。</p>		

ねらい...0.1を単位として考えると、小数も整数と同じように減法の計算ができることを理解する。

時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手立て
5	<p><b>前時の学習の確認</b></p> <p>水そうに水が5.6 入っています。0.9 の水を入れると、全部で何 になるでしょうか。</p> <p>・ 小数の足し算(筆算) 0.6+0.7   4.7+3.4   7.3+0.7   6+3.5</p>	<p>・ 式、筆算、答えを書くよう指示する。</p> <p>・ 位をそろえる、繰り上がり、末位の0の処理についての注意を促す。</p>	<p>表</p> <p>小数第1位までの小数の減法や桁数のそろっていない減法の筆算が正確にできる。</p> <p>小数第1位までの小数の減法や桁数のそろっていない減法の筆算が正確に速くできる。</p>
10	<p><b>減法の問題</b></p> <p>2.5 あった牛乳を、スープを作るのに1.2 使いました。のこりは何 でしょうか。</p> <p>・ 式を考えよう。     2.5 - 1.2</p> <p>・ 残りの牛乳は何 でしょうか。</p> <p>・ どのようにして答えを出したかの説明してみよう。</p> <p>・ 筆算の仕方を確認しよう。</p>	<p>タイル図や ます図で説明している。</p> <p>0.1 の何こ分で考えている。</p> <p>d で考えている。</p> <p>筆算で説明している。</p> <p>・ ~ の説明をワークシートに書いている児童を指名し、発表させる。</p> <p>・ どれも、足し算の時、整数の引き算と同じに考えて良いことを確認する。</p>	<p>タイル図、 ます図を掲示したホワイトボードを自由に使えるように用意する。</p>
15	<p><b>繰り下がりのある減法の問題</b></p> <p>さゆりさんのリボンの長さは1.9m、妹のリボンの長さは3.5mです。どちらが、何m長いでしょうか。</p> <p>・ 問題文をテープ図にしてみよう。</p>  <p>・ 式を考えよう。     3.5 - 1.9</p> <p>・ どのように計算するか考えよう。</p> <p>・ 筆算の仕方を確認しよう。</p>	<p>・ テープ図のどの部分を求めるのか着目させる。</p> <p>「長さのちがいを求めればいいんだね。」</p> <p>・ 筆算の仕方がうまく理解できない児童には、     の考えを使ってはどうかと促す。</p> <p>・ 児童が自分の言葉で筆算の仕方を説明する場を設ける。</p> <p>・ 繰り下がりの部分の説明は丁寧にしよう助言する。</p> <p>・ 繰り下がりが理解できているか確認する。</p>	<p>繰り下がりが理解できていない児童には、タイル図を使って計算を考えさせる。</p> <p>0.1の棒5本から9本をひきたいところだが、ひけない。1のタイルを10本の棒に分ける。15本からなら、9本がひける。 くり下がりが だね。</p>
10	<p><b>減法の筆算練習</b></p> <p>0.7 - 0.3   0.9 - 0.6   3.9 - 1.5 6.7 - 1.4   2.8 - 0.5   4.1 - 1.7 5.4 - 2.5   2.8 - 0.9</p> <p><b>0の処理について考える</b></p> <p>4.2 - 3.8</p> <p>・ 1の位の0をどうするか。</p> <p>4 - 1.8</p> <p>・ 必ず位をそろえる。</p> <p><b>筆算練習</b></p> <p>2.4 - 1.6   1.5 - 0.9   3 - 1.2   2 - 0.7</p>	<p>・ 位をそろえる。(小数点の位置をそろえる)</p> <p>・ 位をそろえることを意識するようにワークシートに枠を用意する。</p>  <p>・ 昨日の学習では、最後の0を斜線で消す約束をしました。</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 4 \\ - 1.8 \\ \hline \end{array} \quad \xrightarrow{\text{なせ}} \quad \begin{array}{r} 4 \\ - 1.8 \\ \hline \end{array}</math> </p>	
5	<p><b>学習を振り返る</b></p> <p>・ 今日の学習は楽しかったですか。</p> <p>・ 今日の学習内容は分かりましたか。</p>	<p>・ 繰り下がりを理解していない児童には、タイル図をできるように教室に用意しておく。</p>	

第8時(8/9)

ねらい...問題演習を通して、既習事項に習熟する。

時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手だて
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; margin: 0 auto; width: 80%;">学 級 T T 指 導</p> <p>教科書の練習、力だめしの問題を解く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、これまでに学習したワークシートを参考に見直してもよい。</li> <li>・分からないことや、確かめたいことのある場合は、すすんで教師を呼ぶように伝える。</li> <li>・考える視点を示唆したり、参考にする既習事項を教えたり、児童の状況に応じて支援する。</li> <li>・解答を用意し、児童が各自で自己採点できるようにする。</li> </ul>	<p>関</p> <p>単元で学習した考え方を使って、問題を解こうとしている。</p> <p>これまでの学習プリントを見返したり、友だちや教師に質問したりして、最後まで問題を解こうとしている。</p> <p>学習プリントから、ヒントを探してみるように助言する。</p>

第9時(9/9)

ねらい...問題演習を通して、既習事項に習熟する。




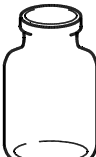
時間	児童の活動、予想される反応	支援及び指導上の留意点	おおむね満足できる状況 十分満足できる状況 努力を要する児童への手だて
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; margin: 0 auto; width: 80%;">学 級 T T 指 導</p> <p>学習プリントの問題を解く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補充的内容の学習プリントと発展的内容の学習プリントを用意する。</li> <li>・解答を用意し、児童が各自で自己採点できるようにする。</li> <li>・教科書、これまでに学習したワークシートを参考に見直してもよい。</li> <li>・分からないことや、確かめたいことのある場合は、すすんで教師を呼ぶように伝える。</li> <li>・考える視点を示唆したり、参考にする既習事項を教えたり、児童の状況に応じて支援する。</li> </ul>	<p>単元で学習した考え方を使って、問題を解こうとしている。</p> <p>これまでの学習プリントを見返したり、友だちや教師に質問したりして、最後まで問題を解こうとしている。</p> <p>学習プリントから、ヒントを探してみるように助言する。</p>

# 小数

(第1時) 学習日 月 日

4年 組

問題 1 より多く、2 より少ない水の量は何 と言えばよいのでしょうか。

 1	 <input type="checkbox"/>	 <input type="checkbox"/>	 2

10等分

<input type="text"/>	
<input type="text"/>	-----
<input type="text"/>	-----
<input type="text"/>	-----
<input type="text"/>	-----



# 小数

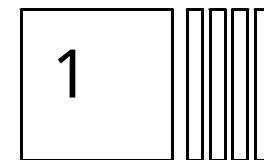
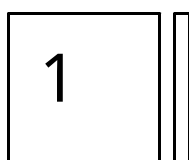
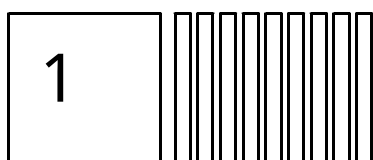
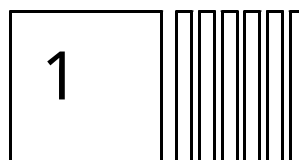
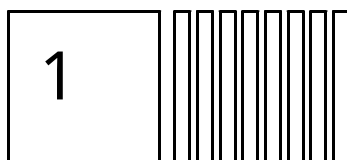
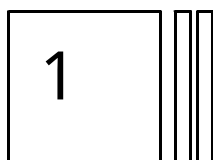
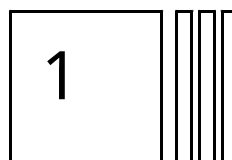
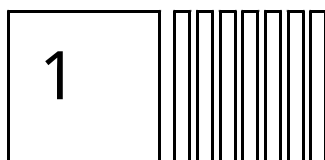
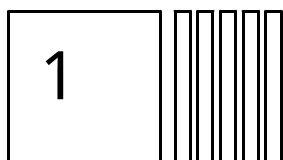
(第1時)

学習日 月 日

4年 組

---

次のタイル図を小数で書きましょう。



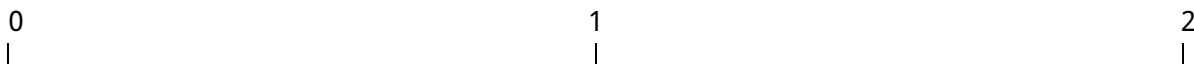
## 小数の考え

1 を  すれば、1 より多く、2 より少ないはしたの量も数で表すことができる

# 小数

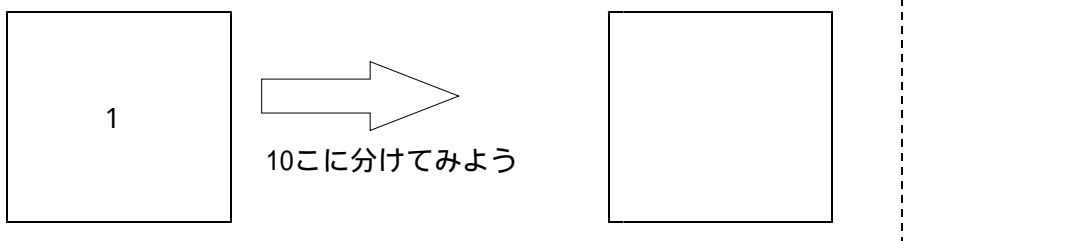
(第2時) 学習日 月 日

4年 組



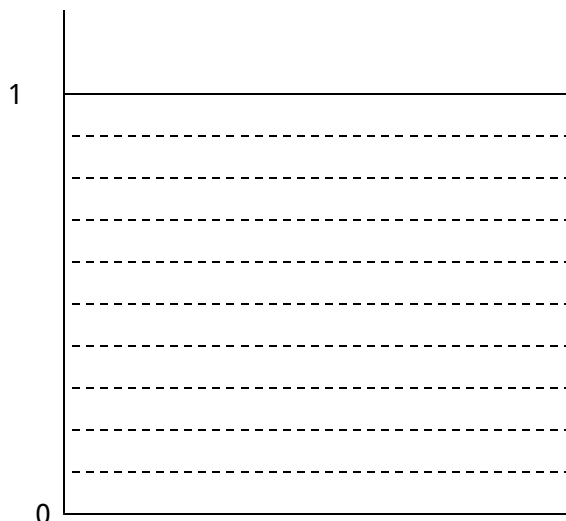
1と2の間にどんな小数がありますか。

1より小さい数



## 小数じゃんけんゲーム

2人1組でじゃんけんをします。  
グーで勝ったら0.1 チョキで勝ったら0.2 パーで勝ったら0.5 の色水がもらえます。  
先に1の色水をためた人が勝ちです。  
1以上にあふれてしまったら負けです。  
もらった色水の分だけ色をぬりましょう。



もらった色水	合計

# 小数

(第2時) 学習日 月 日

4年 組



今日のポイント

1 を10こに等しく分けると .....

## 練習問題

何 でしょうか。小数で表しましょう。

0.1 の3こ分のかさ。 .....

0.1 の9こ分のかさ。 .....

3 と0.1 の5こ分をあわせたかさ。 .....



・今日の授業は楽しかった。

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

・今日に授業の内容は分かった。

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

・マグネットタイルは役に立った。

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

・今日の授業について感想をかいてください。

### 0.1 容器


### 1 容器

### 3 容器

どのように考えたか説明を書いてみよう

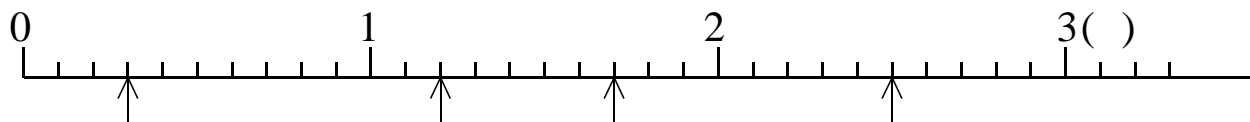
# 小数

(第3時) 学習日 月 日

4年 組

---

下の図の中の ~ を小数で表しましょう。




# 小数

(第3時) 学習日 月 日

4年 組

図の中に小数を書いてみよう

2.7    1.8    1.6    2.1    2.3



どのように考えて、場所を決めたのか、説明してみましょう。

・今日の授業は楽しかった。  
あてはまる    ややあてはまる    あまりあてはまらない    あてはまらない

・今日に授業の内容は分かった。  
あてはまる    ややあてはまる    あまりあてはまらない    あてはまらない

・小数の考えとはどんなことですか。

・今日の授業について感想をかいてください。

小数 (第4時) 学習日 月 日

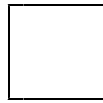
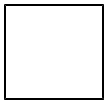
4年 組

---

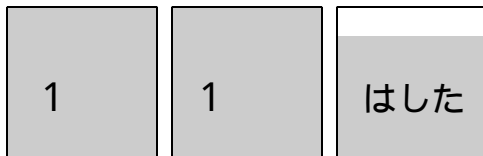
小数当てクイズの問題を考えよう

Aタイプ

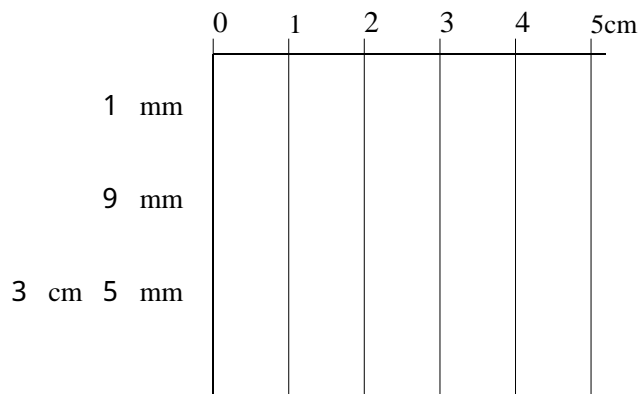
Bタイプ



バケツの水を1リットルまではかりました。何リットルと言えいいでしょう。



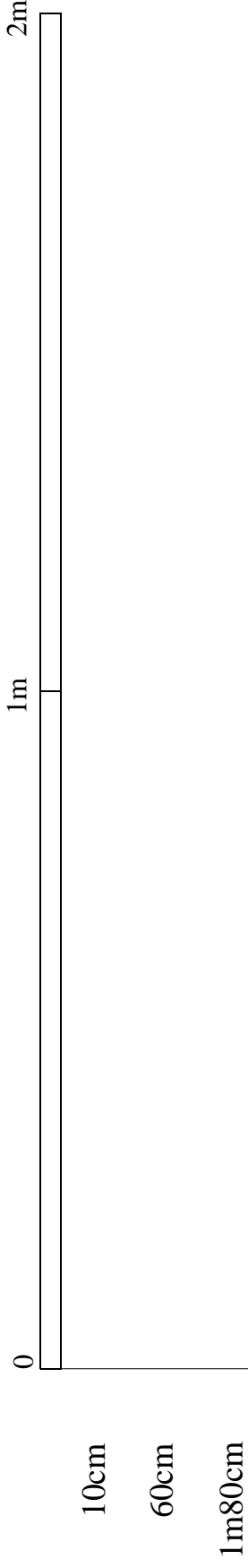
長さを小数で表してみよう



小数 (第4時) 学習日 月 日

4年 組

1 mをこまかくしてみよう



$$10\text{cm} = \square \text{ m}$$

$$60\text{cm} = \square \text{ m}$$

$$1\text{m}80\text{cm} = \square \text{ m}$$

今日の学習をふりかえろう

小数を使うと便利になりましたか。

身の回りにある小数を考えてみましょう。

今日の学習は楽しかった。

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

今日の学習内容は分かりましたか。

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

感想



# 小数

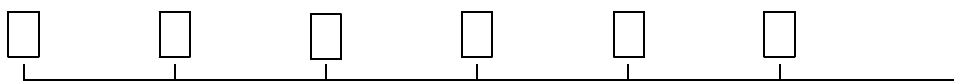
(第5時) 学習日 月 日

4年 組

3.5cmの線をかいてみましょう。

**問題** 0と0.1はどちらが大きいですか。

数字を並べよう。(0 1 2 3 4 5)



あ.....	.....	い.....	.....
う.....	.....	え.....	.....
お.....	.....		

小数のしくみについて考えよう

小数の数直線



整数の数直線

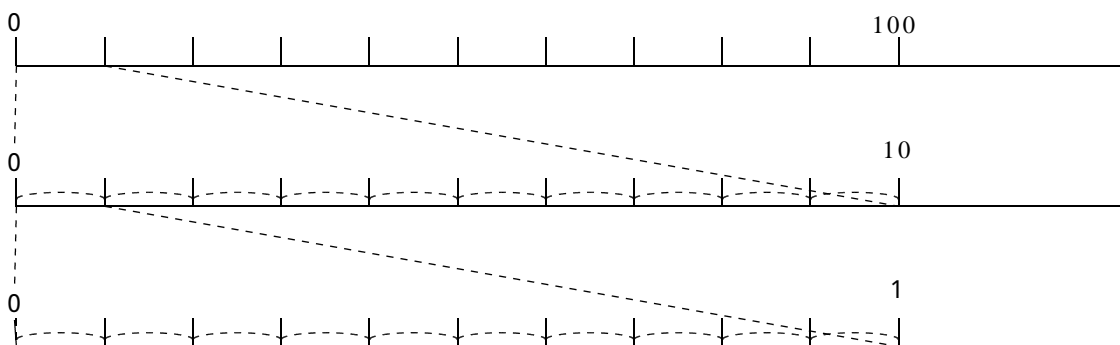


小数の数直線と整数の数直線を比べて、気付いたことがありますか。

# 小数

(第5時) 学習日 月 日 4年 組

メモ리를細かく調べてみると...



に入る数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} - 0.6 - 0.7 - \square - 0.9 - \square - \square - \\ - 5.2 - 5.1 - \square - 4.9 - 4.8 - \square - \end{array}$$

問題 3.1と2.9はどちらが大きいでしょう。

## 今日の学習をふりかえろう

今日の学習は楽しかった。

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

今日の学習内容は分かった。

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

小数のしくみについて分かったことは何ですか。

感想

3千円は何万円と言えればいいでしょう?

3千円  
は  
万円

青いペットボトルと赤いペットボトルにジュースが入っています。このジュースを合わせると、0.9 になります。青いペットボトルと赤いペットボトルには、それぞれ何 のジュースが入っているでしょうか。

青いペットボトル \_\_\_\_\_

赤いペットボトル \_\_\_\_\_

あなたが考えたペット

ボトルのジュースを合わせると0.9 になる理由を説明しましょう。

(今までに学習した考え方を使ったり、図をかいたりしてもいいよ)

# 小数

(第6時) 学習日      月      日

4年 組

**問題** 大きいコップには2.5d、小さいコップには1.3dのジュースが入っています。合わせて、ジュースは何でdあるでしょうか。

式をかきましょう。

計算のしかたを考えましょう。

---

## 練習問題

$0.2+0.5$

$0.8+0.1$

$3.2+1.6$

$2.8+7.1$

# 小数

(第6時) 学習日 月 日 4年 組

## 問題

0.9m のテープと0.3m のテープをつなぎました。全体の長さは何mになるでしょうか。  
ただし、つなぎ目は重ねてありません。

式をかきましょう。

筆算で計算しましょう。

## 練習問題

$2.3+4.8$

$0.9+7.1$

$5+3.4$

## 今日の学習をふりかえろう

今日の学習は楽しかった。

あてはまる    ややあてはまる    あまりあてはまらない    あてはまらない

今日の学習内容は分かった。

あてはまる    ややあてはまる    あまりあてはまらない    あてはまらない

小数のたし算と、整数のたし算の似ているところはどんなところですか。

# 小数

(第7時) 学習日 月 日

4年 組

復習の問題です

**問題** 水そうに水が、5.6 入っています。0.9 の水を入れると、全部で何 になるでしょうか。

式

筆算

答え

**問題** 牛乳が2.5 ありました。スープを作るのに、1.2 使いました。  
のこりの牛乳は何 でしょうか。

式

答え

どのようにして答えを出しましたか。

**問題** さゆりさんのリボンの長さは1.9m、妹のリボンの長さは3.5m です。  
どちらが、何m長いでしょうか。

# 小数

(第7時) 学習日 月 日

4年 組

---

## 筆算の練習

$0.7-0.3$


$0.9-0.6$


$3.9-1.5$


$6.7-1.4$


$2.8-0.5$


$4.1-1.7$


$5.4-2.5$


$2.8-0.9$


## 0に注意!

$4.2-3.8$


$4-1.8$


## 筆算の練習

$2.4-1.6$

--

$1.5-0.9$

--

$3-1.2$

--

$2-0.7$

--

今日の学習は楽しかった。

あてはまる    ややあてはまる    あまりあてはまらない    あてはまらない

今日の学習内容は分かった。

あてはまる    ややあてはまる    あまりあてはまらない    あてはまらない